

広 報

さいと



▲さいとマルシェ de ハロウィン (10月12日)

あいそめ広場で開催された『さいとマルシェ』。今回は西海市からの出店や仮装ファッションショーも行われました。

特集

「食」創生都市をめざして

本市の基幹産業である農業。その資源を生かし、農商工連携や6次産業化などの取り組みが進んでいます。

未来へと勇躍する
「食」創生都市をめざして . . . P2

さいと市政ナビ . . . P8
まちの話題 . . . P10
みんなの広場 . . . P12
インフォメーション . . . P14

市長のやっちょるや通信 . . . P19
滝一郎のちょっとみちくさ . . . P20

今回は、米良の秋を彩る、シュウメイギクをご紹介します



今月の題字
三財小5年
なかだけ まゆ
中武 真唯さん

11

2013 Vol.559
NOVEMBER



元気な日本のふるさと”西都”

～未来へと勇躍する

「食」創生都市

をめざして～



農

業を活かした
新たな取組み

農業を基幹産業としている西都市では、南国の温暖な気候と豊かな土壌を活かした施設野菜、露地野菜、果樹、畜産と稲作を組み合わせた複合経営が盛んに行われています。

中でも、ピーマンやキュウリ、ニラやゴーヤなどの施設野菜は、全国の出荷量の上位に位置しており、日本の主要な食料供給基地として位置づけられています。

また、新たな農産物として「太陽のタマゴ」のブランド名で全国的に知られるようになった完熟マンゴーや、初夏の味覚として人気の高いスイートコーンも生産量が多く、都市部に向けて出荷されています。

このように、農畜産物の大生産地であることから、近年は、冷凍野菜のカット工場や食肉加工場などの食関連企業の立地が相次いでおり、6次産業化や農商工連携などの取組みが始まっています。



“食”創生

戦略アクションプラン



食 創生都市を 目指して

西都市では第四次西都市総合計画に示す目標像として、豊かな大地の恵みである安全でおいしい農畜産物や食品、料理など、西都が持つ資源(ちから)である「食」を通じて雇用の創出や地域の活性化を図り、市民や訪れる人々に癒しと活力を与える『食』創生都市」を目指すこととしています。

この目標を達成するため「人」「地域」「環境」「豊かさ」の4つの視点から「西都創生」に取り組む基本戦略として「ひとづくり戦略」「安全・安心戦略」「すこやか元気生活戦略」「地域活力戦略」「市民協働戦略」「食創生戦略」を設定し、その中心に「食創生戦略」を位置づけています。

この中心戦略である「食創生戦略」を具体的に進め、市民、事業所、行政が一体となって西都づくりの目標を達成するための『食』創生戦略アクションプラン」について紹介します。

食を活かす 4つのコンセプト

4つの コンセプト

『食』創生戦略アクション
プランでは

- ともにつくろう
- ともにつかおう
- ともにつたえよう
- ともにつなげよう

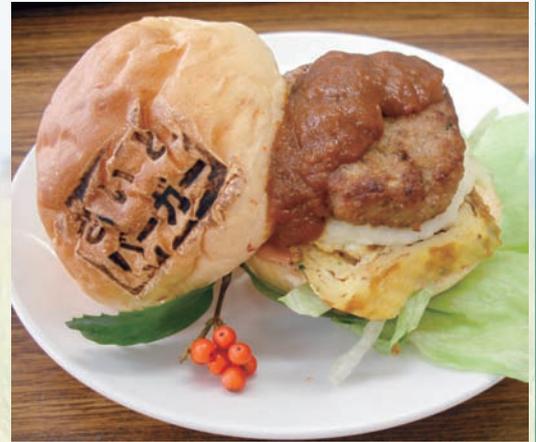
の4つのコンセプトをもとに
取り組みを進めることにして
います。

そして、4つのコンセプト
に基づいて市民の皆さんや事
業者、行政がお互いの役割に
応じて食に関わる取り組みを
進めます。

市民の皆さんには、

- 家庭や地域において農業に
触れ合う機会を設ける。
- 家庭料理の食材に西都の
「食」を使う。
- 親から子供へ伝統（田舎）
料理を伝える。
- などの取り組みをしていただ
きたいと思います。

- 新たな『食』を開発する。
- 安全・安心な農産物、西都



このはな館で販売されている
「さいとバーガー つくよみ」

農畜産物の生産体制や生産基盤の整
備など、安全・安心な農産物を継続し
て安定的に生産できる環境づくりに取
り組めます。

また、環境の変化や消費者ニーズに
対応した新たな農産物の導入や食の開
発を進め『食のブランド化』を推進し
ます。

家庭や学校、地域において、子ども
から高齢者までの各世代が、農業に触
れ合う機会を設けます。

- 農業生産振興
- 農業後継者の育成
- 新たな食の開発

ともにつくろう



西都の食材を使用した学校給食

本市で生産された農畜産物や、それ
らを使った料理や加工品について、家
庭や学校、地域活動、企業活動におい
て、積極的な利活用を推進します。

そのことにより、本市の農畜産物や
料理、加工品の安全性や高い品質につ
いて市民の認識を高めるとともに、地
域内の消費活動を促進します。

また、農産物の新たな活用を図るた
め、大学などの共同研究により、機
能性成分分析などに取り組みます。

- 食関連企業の誘致
- 食を活かした交流
- 食を活かした健康づくり
- 農産物の新たな活用

ともにつかおう



特集「食」創生都市をめざして

ならではの農産物を生産する。

○農業生産者と加工・流通事業者との連携を進める。

○産地間連携を進める。

○産地間連携を進めたいと思います。

行政では、

○食の生産・開発・販売などを支援する。

○食のブランド化を推進する。

○食の活用を推進する。

○食に関するニーズなどの調査・分析を行う。

○食に関する産業の有機的な連携、6次産業化などの推進を行う。

○食の連携を図るための拠点を整備する。

○産地間連携の支援や大学などとの共同研究を進める。

○産地間連携を進める。

○西都の食を活かすため、産官民一体となった取り組みを行います。

○次のページでは、食創生戦略の1つである『6次産業化』

○に取り組み2つの企業を紹介いたします。

ともにつたえよう

本市が持つ食の豊かさ、おいしさ、そして安全・安心などの情報を市民の皆さんや事業者、行政が一体となって市外・県外に向けて積極的に発信し販路拡大を図ります。

また、地域の農畜産物を使った家庭料理や祭事などに伝わる料理など、古くから受け継がれてきた食の文化を次の世代に継承します。

○食に関する市民運動の推進

○食のPR・販売促進

○食の伝承



ふるさと産業まつりでの「農産物販売」

ともにつなげよう

「つくる」「つかう」「つたえる」の取り組みを一体的に「つなげる」ことで、本市ならではの食の力を戦略的に発揮します。

また、市民と都市住民、農業生産者と加工・流通事業者、食と観光産業などをつなぎ、にぎわいを創出する拠点として「食の拠点」を整備します。

さらに、姉妹都市などの都市間交流において、食を活用した相互交流として、産地間連携を推進します。

○食の拠点の整備

○姉妹都市などとの連携

○食の6次産業化・農商工連携



西海市での「大鍋祭り」

INTERVIEW

農産物の生産だけでなく、加工・販売まで直接行う6次産業化。本市で独自の取り組みを行う2つの企業に、お話を伺いました。



を生み出し、地元にお金を落とすことができません。

全て自社管理なので、安全・安心な商品であると消費者に強くアピールできるメリットは大きいのです。しかし逆に、全

てを管理するに

は、膨大な費用や手間がかかります。銀鏡は過疎化している

るので、人手の確保も大変です。また、一番大変なのは

販売。販路を開拓するノウハウは農家にはなかなかないの

で、行政の支援が必要です。それでも地域と連携するこ

とで、地域の文化を守っていくことができず。今後は雇

用創出だけでなく、観光など

全てに絡んで多角的に地域に貢献できる企業を目指したいと考えています。

自社でゆずや唐辛子を生産し、ゆずこししょうやゆず果汁などを加工・販売しています。販売している製品は、現在100種類を超えていると思います。少しずつ販路を拡大し、現在では日本全国、海外にも販売しています。昭和53年、先代である父親が、そのままでは売れない不良果実をどうにかして売りたいと取り組んだことが出発点です。6次産業化し、銀鏡で生産・開発をすることで雇用

銀鏡の里でゆずの生産・加工品製造・販売を手がける

将来は観光なども含めて多角的な経営を目指したい

農業生産法人(株) かぐらの里

代表取締役 濱砂修司さん

西都市初、6次産業化事業計画認定農家
自社の牛肉ブランドで地域を盛り上げたい

宮崎和牛(株) サイトーフアーム

専務 齋藤幸紀さん

祖父の代から茶臼原で畜産業を始め、3年前に現在の「(株) サイトーフアーム」を設立し、父が社長、私が専務として牛の肥育をしています。

餌にこだわった独自の飼育などがバイヤーさんに認められ、福岡や熊本など県外にも販売してきました。その中で、「サイトーフアーム」で育てた牛をもっとアピールできないだろうかと考え、県や市の方に相談したところ、6次産業化を勧められました。

国の6次産業化法に基づく事業計画の認定をもらえましたが、全てはこれからです。今は6次産業化についての勉強会などに参加し、異業種

の人との関係を広げている段階です。将来的には自社で飼育した牛からハンバーグなどの加工食品を製造し、販売する計画です。夢は大きく広がりますが、6次産業化はすぐには始まりませんし、途中で失敗しないためにも少しずつ確実に進めたいです。



まずは自社の牛のブランド牛化。そして口蹄疫の時の恩返しのためにも、地域、畜産や野菜農家、異業種の人、また県や市などの行政とも一緒に事業を進めたいです。

食
を活用した
新たな取り組み

食創生戦略として、今後予定している新たな取り組みの一部をご紹介します。

◆6次産業化関連事業

国、県の制度を活用し、企業などによる6次産業化・農工商連携を推進する一方、個人や地域における比較的小規模な6次産業化の取り組みを推進するため、市独自の支援策を検討しています。

また、1次産業者である農業者で、6次産業化・農工商連携を目指す人と、2次・3次産業者で農業者との連携を



▲市内で開発・販売されている商品例

望む人の情報収集やマッチング、異業種交流の場づくりも検討しています。

◆「食の拠点」整備事業

物産販売所、レストラン、観光案内所などを備えた「食の拠点」の整備を予定しています。

本市で生産される安全でおいしい農畜産物や加工品、料理などの食をはじめ、スポーツや健康、歴史や文化、豊かな自然などの魅力を積極的にアピールします。また、市外から多くの観光客にきていただき、交流や消費をしていただく場としても利用していく予定です。



▲福岡市で本市の農産物をPR

◆宮崎大学農学部との連携

今年8月、国立大学法人宮崎大学農学部と本市の連携に関する協定を締結しました。

本市と宮大農学部が緊密な連携の下、地域の発展を目的として、それぞれの資源や機能などの活用を図りながら、幅広い分野で相互協力を行うことになりました。その連携テーマのひとつとして、農産物の新たな活用を目的とした農産物の機能性成分の分析を検討しています。

◆都市部などにおける

食のPR強化

農産物や加工品の販路拡大と観光推進を兼ね備えた大都市部における「さいと物産・観光フェア」をはじめ、都市部でのPRの充実や、姉妹都市である長崎県西海市の農産物直売所との産地間連携を検討しています。

次
世代へ引き継ぐ
これからの食創生

農業の6次産業化や食の拠点整備、農産物の機能性成分分析など、食創生戦略として

新たな取り組みを進めていく中、本市の農業について再度認識する必要があります。

本市の農業は、ピーマンやカラーピーマン、完熟マンゴー、ゆず、その他の多くの品目において、先人達の先見性、たゆまぬ努力、フロンティア精神によって作り上げられました。

これらの農業を次世代に引き継ぎ、産地を維持し、品質の高い安全・安心な農産物を継続的に生産していくことが食創生の基本です。

その上で、食創生戦略として農業や食を活用した新たな取り組みを進め、食と観光の連携を図るなど、本市ならではの魅力を創出。それにより、定住人口や交流人口の拡大、新たな産業の創出、食関連産業の誘致などを進め、元気な日本のふるさと西都を創っていきます。

そのためにも、市民の皆さんや事業者、行政がお互いの役割に応じて食に関わる取り組みを進めていただきますようお願いいたします。

さいと 市政 ナビ

表彰

（株）ウイントが 中小企業大賞を受賞

本市の（株）ウイント（堀江勝人社長）が宮崎県中小企業大賞を受賞しました。

この表彰は県内産業の振興や地域経済活性化に貢献した県内企業を表彰するもので、今年度は同社を含む3社が受賞しました。

誘致企業である同社は昭和63年に設立され、工業デザインモデルや自動車モデルなどを製造。製品開発業務を総合的にサポートする国内屈指の技術力が評価されました。

■問い合わせ

商工観光課 企業対策係
Tel 0983・42・4068



県知事室で行われた表彰式
(写真提供：宮崎県)

表彰

松浦健さんが 功労者表彰を受賞

本市の松浦健つよしさんが平成25年度交通安全功労者交通対策本部長表彰を受賞しました。

この表彰は交通対策本部長（内閣府特命担当大臣）が交通安全の確保および交通安全思想の普及に貢献し、顕著な功績のあった個人や団体などを表彰するもので、今年度は全国で個人21人、団体5団体、市区町村5市村が受賞。

松浦さんは今年3月まで37年間、交通指導員として尽力。その功績が評価されました。

■問い合わせ

生活環境課 市民生活係
Tel 0983・43・3485



功労者表彰を受賞した松浦さん

スポーツ

ヤクルトスワローズを縁に 本市など全国4市が多分野で連携

本市でファームの春季キャンプを行っているプロ野球・ヤクルトスワローズ（以下「スワローズ」）。そのスワローズと本市を含む全国4市がスポーツや観光、文化など幅広い連携を目指し、さまざまな交流事業に取り組むことになりました。

これはスワローズに縁のある市同士が交流を深めようとする。これはスワローズに縁のある市同士が交流を深めようとする。

これはスワローズに縁のある市同士が交流を深めようとする。

■問い合わせ

また今後は、同大会の持ち回りでの開催や、各市で行われるイベントなどでスワローズのマスコットキャラクター「つば九郎」と4市の魅力を発信する企画が検討されています。来シーズンはヤクルトスワローズの本拠地である神宮球場での公式戦の開催日に4市の観光や特産品をアピールする日を設ける計画もあります。

■問い合わせ

スポーツ振興課
Tel 0983・43・3478



東京都港区の球団本部での会見

児童福祉

「さしのべたその手がこどもの命綱」
11月は児童虐待防止推進月間です

児童虐待を発見した人には誰でも通告の義務があります。「虐待を受けたと思われる子どもがいる」「自身が出産や子育てに悩んでいる」「子育てに悩んでいる親がいる」「子どもがいましたら、児童相談所（全国共通ダイヤル）や市の窓口へ連絡・相談ください。

児童虐待とは

身体的虐待	殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどをおわせる、溺れさせる など
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
ネグレクト	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう（DV） など



オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

あなたの連絡・相談が子どもを守るとともに、子育てに悩む保護者を支援するための大きな一歩となります。

○児童相談所 全国共通ダイヤル

Tel 0570・064・000

※連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

■県内の児童虐待などに関する通報・相談先

○通報

宮崎県中央児童相談所

Tel 0985・26・1551

市福祉事務所

Tel 0983・43・0376

○相談

市福祉事務所家庭児童相談室

Tel 0983・43・1111

(内線2709)

市児童館

Tel 0983・43・6117

市域子育て支援センター

Tel 0983・43・1049

道路情報

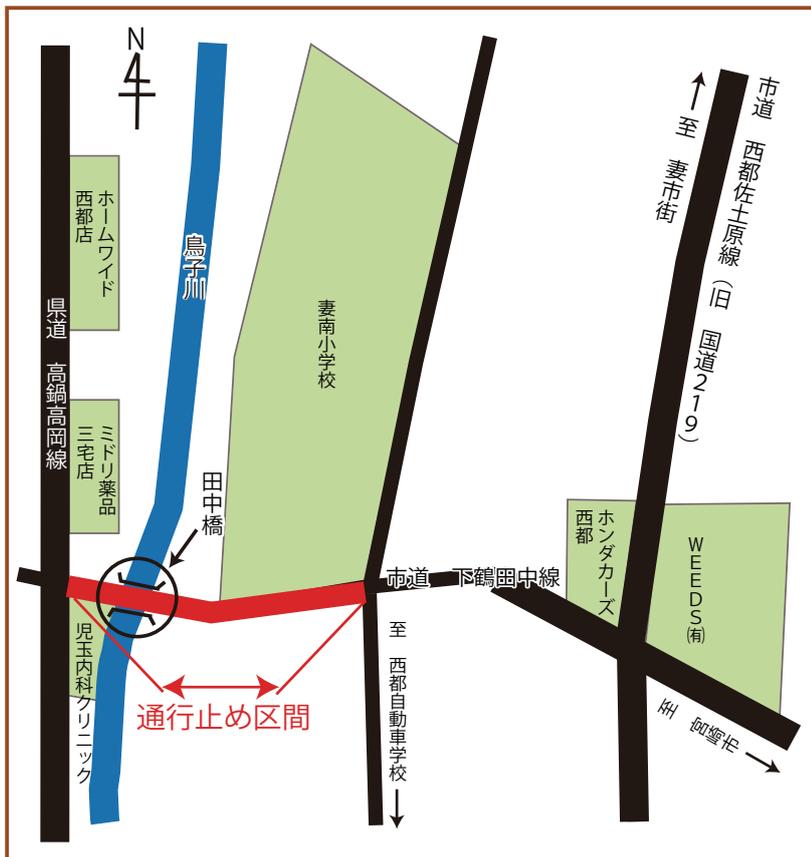
市道 下鶴田中線道路工事（田中橋）に伴う
全面通行止め（妻南小学校南側）のお知らせ

市道 下鶴田中線の道路工事に伴い、県道 高鍋高岡線の『妻南小学校入口』交差点から東側約240mの区間で全面通行止めを行います。工事期間中、大変ご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

○全面通行止め開始予定日時
平成25年12月2日（月曜）
午前9時～

○全面通行止め終了予定
平成27年3月末

■問い合わせ
建設課 道路建設係
Tel 0983・43・0381





市民の健康推進に尽力
設立20周年記念大会

食改善推進協議会 20周年記念大会

9月21日、市文化ホールで「食改善推進協議会20周年記念大会」が行われました。同協議会は食を通じた健康づくりの推進を目的に設立。今年で設立20年を迎えることを記念して開催されました。当日は約400人が来場し、功労者への表彰や西日本新聞社の佐藤弘氏による講演、推進員による寸劇を実施。大会終了後には地産地消試食会も行われました。



東米良清流ニジマス釣り大会

9月29日、東米良銀鏡川で「東米良清流ニジマス釣り大会」がありました。これは西都市グリーン・ツーリズム研究会が主催したもので、この日は子供連れの家族や、友人同士のグループなど、市内外からの参加者でにぎわいました。釣った魚はその場で焼くことができ、参加者らはおいしそうに食べながら自然を満喫していました。

大自然を満喫
東米良の清流で魚釣り



音楽と講演で
伊東マンショを顕彰

伊東満所 (マンショ) 顕彰講演会・演奏会

10月5日、市文化ホールで伊東マンショ顕彰講演会・演奏会がありました。オープニングに宮崎大学の竹井成美教授を代表とした宮崎中世音楽研究会が合唱を披露。マンショがイタリアに渡った時代の聖歌や舞曲を歌いました。続いて長崎歴史文化博物館の大石一久さんが講演。天正遣欧少年使節が果たした偉業と、マンショの生涯を振り返りました。



ツール・ド・銀鏡 2013

10月6日、「ツール・ド・銀鏡2013」が開催されました。これはNPO法人『輪プロジェクトみやぎ』の主催で開催され、市内外から約70人が参加。時折、激しく雨が降る天気の中、あいそめ広場から銀鏡地区『銀鏡伝承館』を往復する75kmのコースを疾走しました。『銀鏡伝承館』では銀鏡神楽の特別鑑賞や昼食として郷土料理の振る舞いも行われました。

秋の米良街道を疾走
銀鏡の文化・料理も堪能

ま ち の 話 題



平郡十五夜踊

9月14日、三納平郡地区で市の無形民俗文化財に指定されている平郡十五夜踊が披露されました。この踊りは、小林地方で伝えられていたものを、江戸時代に村人が踊り手を招いて地区に広めたと言われてい^がます。地元住民や関係者がが見守るなか、歌い手4人の鉦や三味線の音にあわせ踊り手が太鼓をたたきながら優雅な踊りを披露しました。

第31回チャリティー芸能発表会

9月29日、市民会館で「チャリティー芸能発表会」が行われました。これは市文化連盟の主催で行われ、今回で31回目の開催。当日は約350人の観客が会場を訪れました。出演者は舞踊や民謡、太極拳や大正琴などの多彩な演目を発表。日頃の練習の成果をステージで披露し、それぞれの演目が終了するたびに観客からは大きな拍手が送られました。



赤い羽根共同募金運動オープニングセレモニー

10月1日、あいそめ広場で赤い羽根共同募金運動のオープニングセレモニーが行われました。同日から全国一斉に始まった同運動。セレモニーでは市共同募金委員会長のあいさつや厚生労働大臣のメッセージの朗読、あさひ幼稚園鼓笛隊によるアトラクションなどが行われました。セレモニー終了後、街頭募金活動を実施。あさひ幼稚園児も参加し、募金への協力を呼びかけました。

平成25年度西都市戦没者追悼式

10月5日、市民会館で市戦没者追悼式が行われました。式には戦没者の遺族など289人が参列。本市の戦災死亡者の冥福を祈りました。式ではトランペットの演奏に合わせて参列者全員で黙とう。市長や市戦没者遺族連合会会長らが追悼の辞を述べました。その後参列者全員で祭壇に向かって献花を行い、故人への感謝と平和への誓いを新たにしました。



第10回九州・西都原古墳空手道大会

10月6日、妻高等学校体育館で「九州・西都原古墳空手道大会」が開催されました。毎年九州各県から多くの選手が参加するこの大会も今年で節目となる10回目。この日は37参加団体から形の部261人、組手の部356人がエントリー。選手たちは幼児から中学生までそれぞれの部で熱気に満ちた戦いを繰り広げ、日ごろ鍛えた技を競い合いました。



おおまち 信平さん

人や自然を見つめた映像作品が世界各国で賞を獲得。その功績から、この度市民栄誉賞が授与されました。



昭和5年12月17日生
妻：御舟町

御舟町で歯科医院を営む傍ら、16ミリおよび8ミリ映画など、数々の映像作品を製作してきた大町さん。それらの作品は、国内はもとより世界中で高い評価を受けてきました。その功績をたたえ、市民栄誉賞の受賞が決定しました。大町さんが最初に賞を受賞したのは、本市が市制を施行した55年前。『第1回全日本8ミリ映画コンクール』の特選となり、その後も自然や野鳥、集落の営みなどを撮り続けてきました。

「小さい頃から、映写機に関心がありました。子どもの目には魔法の機械に見えたものです」と、映像の世界に魅せられていた大町さん。撮影の際は、とにかく情熱と忍耐、執念でカメラを回しました。「15分の作品を作るのに、最低1年はかかりますよ」と話すところ、大町さんの作品は対象をひたすら見つめ続けます。特に印象深い作品として挙げる『自問』という作品では、認知症になった自身の妻と、それをとりまく家族の苦悩に迫り、数々の国際映画祭で高い評価を得ました。「時間をかけて見つめること。そうすることで、相手の深い所が見えてきます。その中からテーマが生まれてくる」というモットーを大切にしてきました。

今回の受賞に関して「私一人が受賞するのではなく、たくさんの方の協力者へのお礼だと思っています」と周囲への感謝の思いを語ります。「寒川集落など、まだまだ皆さんの映像が撮ってある。撮影に協力してくださった方へのお礼に、作品としてまとめていけたらと思っています」と意欲を見せていました。

育てよう

西 都っ子 第3回



福祉事務所では、家庭児童相談室と幼児相談室を設置しています。相談室には、経験豊かな相談員がおり、さまざまな相談を受けています。

昨年は159件の相談があり、子育ての悩み・不安といったものから、発達に障がいや伴うもの、虐待を含む養護に関するものなどがありました。

相談内容に応じて助言や指導を行ったり、児童相談所や支援センターなどの専門機関を紹介するなどの対応をしています。

家庭相談室は福祉事務所、幼児相談室は妻北小学校総合棟1階にあります。ともに個室となっており、安心して相談においでください。

○家庭相談室 〓
毎週月・火・金 9～16時
○幼児相談室 〓
毎週火・水・木 9～16時

■問い合わせ 福祉事務所
Tel 0983-43-0376



家庭相談員 東逸子さん

地域や家庭の中で、子育ての悩みなどを抱えながら生活している方の相談を受け、解決策と一緒に考えたり、さまざまな支援機関と連携して相談に当たります。福祉事務所の一角にある相談室に在席しています。必要があればご家庭にも伺います。どうぞ気軽に相談ください。

Tel 0983-43-0376



家庭相談員 峯松洋子さん

幼児相談室で、子どものことばの発達・全体発達を促す援助をしています。視覚に訴えた活動、手を使う活動、遊具で体を使う遊びなどを中心とし、その子のニーズに合わせて支援をしています。他機関の紹介もしています。

Tel 0983-42-4469

※次回は2月号に掲載予定です。

みんなの広場

わが家のアイドル（未就学児）・頑張っている小中高生の情報をお待ちしています。
市総務課広報係まで TEL 0983 - 43 - 1111 内線 3005・koho@saito-city.jp



ぼくの わたしの 声

題名
『心に残った運動会』

茶臼原小学校6年
みしま きりゆう
三島 輝瑠くん

ぼくは、白団の団長になりました。団長の役割を果たして、楽しい運動会にしようと思いました。副団長や4人のリーダーと昼休みに応えんの練習を毎日がんばりました。

運動会の日朝、いつもより早く起きて花火の音を聞きました。少し雨がふっていたので、花火は聞こえただけ、運動会ができるのが心配でした。

予定よりおくれて運動会が始まりました。開会式で、みんなにがんばってもらえるようにちかいの言葉をドキドキしながら発表しました。

運動場が雨でぬれていて、おもしろい走り回れないところもありましたが、全員リレーや団技や臼太鼓おどりなどをがんばりました。

白団だけでなく赤団もがんばりました。6年生8人も全力で競技や係の役割をがんばりました。心に残る運動会になりました。



わが家の 愛 ドル

おくでら ふみこちゃん(平成20年11月16日生)

とお すけ 十 佑くん (平成24年2月9日生)

がんばり屋の姉とマイペースで人懐っこい弟。元気に育ってくれてありがとう！

(南方：謙司さん・真理子さんの長女・長男)

輝 ラリ！ 西都っ子



妻高校3年

おおがね ゆきと
大金 幸斗くん

木 銃を用いて戦う武道、銃剣道。妻高3年の大金君が、銃剣道の選手として第68回国民体育大会に出場しました。

大金君が銃剣道を始めたのは、高校1年生の夏から。幼い頃からやっていた剣道の先生に誘われたのがきっかけでした。「銃剣道は左手と左足を前に出すので、剣道とは逆。最初は勝手が悪かった」と戸惑いもありましたが、次第に銃剣道の楽しみに目覚めて行きました。

今は小学校から一緒に剣道が続けてきた仲間2人と、自衛隊の隊員に交じって週に2回練習に励んでいます。国体も3人で出場し、固い友情で結ばれています。九州大会は優勝しましたが、全国大会では初戦敗退。「全国は九州大会とは全然違いました」と力の差を痛感したものの、いい経験になったようです。

妻高の福祉科に通う大金君。今後は介護福祉士の国家試験の合格を目指して頑張りますが、「銃剣道は今後もライフワークとしてずっと続けたい」と笑顔で話してくれました。



小さな 美 術館

ひらばら ともやくん

都於都保育所・6歳

作品

「ヨーヨーであそんだよ」

今月のイベント
&
お知らせ

2013 November



EVENT & NEWS



西都古墳まつり

- 日時 11月2日(土曜) 10時～22時、3日(日曜) 9時～16時
- 会場 西都原御陵墓前広場ほか
- 問い合わせ 観光協会
Tel 0983・41・1557

宮崎県駅伝競走大会

高等学校

- 日時 11月3日(日曜)
- スタート時間
- 女子の部 10時20分
- 男子の部 12時30分

中学校

- 日時 11月17日(日曜)
- スタート時間
- 女子の部 10時20分
- 男子の部 11時30分
- ※スタート・ゴール 11時30分

いずれも市役所正面玄関前
※当日はコース周辺の交通規制が行われます。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

- 問い合わせ 11月8日(金曜) 10時(日曜) 9時～16時
- 会場 市民会館
- 内容 市内小中学生の作品展(図画、書写など)
- 入場料 無料
- 問い合わせ 学校教育課
Tel 0983・43・3438

西都市教育文化祭

都於郡城址まつり

- 日時 11月9日(土曜) 18時～21時、10日(日曜) 8時30分～16時
- 会場 都於郡城本丸跡周辺
- 内容
- 9日 前夜祭(オープニングセレモニー、花火大会など)
- 10日 本祭(高屋山上陵祭、都小つ子祭り、お楽しみ抽選会、せんぐまきなど)
- 問い合わせ 都於郡城址まつり実行委員会(都於郡地区館内)
Tel 0983・44・6372

宮崎医療福祉専門学校 学園祭

MMC(宮崎医療福祉専門学校)の学園祭が開催されます。

- 日時 11月9日(土曜) 9時30分～15時30分
- 会場 宮崎医療福祉専門学校(清水)
- 内容 腕相撲大会や各種出店、展示など
- ※血圧測定などの体験コーナーや学校説明会も行われます。

徳北神楽

- 問い合わせ 宮崎医療福祉専門学校
Tel 0983・42・1010

- 日時 11月15日(金曜) 15時ごろ～24時
- 会場 徳北神社
- 日時 11月18日(月曜) 15時ごろ～24時
- 会場 南方神社
- 問い合わせ 観光協会
Tel 0983・41・1557

三宅神社大祭

- 日時 11月15日(金曜) 10時～13時
- 会場 三宅神社
- 内容 神輿、せんぐまき、振る舞いなど
- 問い合わせ 世話人 長友さん
Tel 090・5486・7622

都萬神社秋季大祭

- 日時 11月19日(火曜) 祭典 10時30分、奉納行事 17時
- 会場 都萬神社
- 問い合わせ 観光協会

中山棒踊り

Tel 0983・41・1557

市指定無形民俗文化財。牛馬安全と五穀豊穡を祈願し、奉納されます。保存会や山田分校生により披露されます。

■日時 11月22日(金曜) 13時

■会場 中山神社(都於郡中山地区)

■問い合わせ 観光協会
Tel 0983・41・1557

銀鏡神社秋まつり

■日時 11月23日(土曜)

■会場 銀鏡神社

■問い合わせ 観光協会
Tel 0983・41・1557

岡富住吉神社秋季大祭

■日時 11月23日(土曜) 10時～16時30分

■会場 岡富住吉神社

■問い合わせ 岡富住吉神社
Tel 0983・42・5237

尾八重神楽

県指定無形民俗文化財。家族の無病息災を祈願し、山岳

信仰とともに受け継がれてきたものです。

■日時 11月23日(土曜) 19時ごろ、24日(日曜) 12時ごろ

■会場 尾八重小学校校跡運動場(舞殿)

■問い合わせ 観光協会
Tel 0983・41・1557

新田原エアフェスタ 2013

■日時 12月1日(日曜) 8時30分～15時

■場所 航空自衛隊新田原基地および同周辺空域

■主要イベント

○基地所属航空機(戦闘機など)による飛行展示

○陸海空自衛隊機、装飾品などの地上展示

○花電車(チビッコ電車)を含む各種アトラクション

■入場料 無料

■基地内駐車場の利用 駐車券を持っている方のみ。

※駐車券のない方は公共交通機関を利用、または臨時駐車場を利用してください。

■その他 駐車券の応募方法

や臨時駐車場の場所など詳細については、基地ホームページ (<http://www.mod.go.jp/asdf/nyutabaru/>) で確認、または直接お問い合わせください。

■問い合わせ 航空自衛隊新田原基地基地渉外室広報班
Tel 0983・35・1121

市民会館自主文化事業 南こうせつコンサート

市民会館の自主文化事業として『南こうせつコンサート』2013・うちのお父さん』が開催されます。

■日時 12月3日(火曜) 17時30分開演、18時30分開演

■会場 市民会館

■入場料 4500円(全席指定)

■問い合わせ 市民会館
Tel 0983・43・5048

まちなかギャラリー 夢たまご 11月の催し

■開館時間 10時～17時(11日、25日は休館)

第29回現代書研究

「書槐社」展

■期間 11月2日(土曜)～10日(日曜) まで

宮日総合美術展 第31回無鑑査絵画小品展

■期間 11月12日(火曜)～24日(日曜) まで

布花&陶芸展

■期間 11月26日(火曜)～12月1日(日曜)

※内容など変更になる場合もあります。

■問い合わせ まちなかギャラリー 夢たまご
Tel 0983・42・0027

「森のピカソ」

黒木一明写真展

宮崎空港ビル創立50周年記念および綾ユネスコエコパーク登録記念として、本市在住の写真家 黒木一明氏による写真展が開催されます。

■期日 11月1日(金曜)～29日(金曜)

※最終日は15時まで

■会場 宮崎空港ビル3F ギャラリー

■問い合わせ 宮崎空港ビル株式会社
Tel 0985・51・5111

● ● ● 募 集 ● ● ●

絵本読み聞かせ
 ボランティア募集

市立図書館では、毎週土曜日、10時30分から絵本の読み聞かせを行っています。その読み聞かせに協力していただけるボランティアの方を募集しています。

興味のある方、参加してみませんか？子どもたちと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

■問い合わせ〓図書館
 TEL 0983・43・0584

● ● ● お知らせ ● ● ●

新規立地企業に対する
 補助制度の拡充について

市では、本市産業の振興と安定的な雇用機会の拡大を図るために、これまで企業誘致を重要施策として積極的に推進してきました。

しかし、わが国の経済が低

迷し回復の兆しが依然見え、企業にとっても厳しい経営環境が続く中、さらなる企業誘致を図るために、今回『西都市企業立地促進条例』の改正を行いました。

改正内容は、一定の認定要件を満たし、工場などの新設や増設により雇用創出を行う企業に対する補助制度の拡充（補助金の増額や対象経費の拡充など）となっています。

地元企業、誘致企業の皆さんの積極的な同制度活用を検討をお願いします。

なお、認定要件や補助制度の拡充内容など詳細については、お問い合わせください。

■問い合わせ〓
 商工観光課企業対策係
 TEL 0983・42・4068

検察審査会制度について

不起訴には11人の審査の目

検察審査会制度とは、検察官が被疑者（犯罪を犯した疑いがある人）を不起訴処分（裁判にかけなかったこと）にしたことが正しかったのかを、国民を代表して11人の検察審

査員が審査する制度です。

犯罪の被害にあった人などの申立てにより審査を行いますので、詳しくは宮崎検察審査会事務局までお問い合わせください。

■問い合わせ〓
 宮崎検察審査会事務局
 TEL 0985・68・5120

宮崎県高齢者総合支援
 センターからのご案内

法律問題に係る高齢者とその家族の心配ごと、悩みに弁護士が面談にて相談に応じます。

相談は無料ですが、予約が必要で

■相談日〓毎月第1、第4水曜日

■相談時間〓14時～16時

※相談時間は1人30分です。

■相談場所〓宮崎県福祉総合センター 人材研修館（宮崎市原町）

■相談先・問い合わせ〓
 宮崎県社会福祉協議会 安心生活部 高齢者・障がい者支援課

TEL 0985・25・1100

広告

薬剤師のいる薬局でしか販売できない薬を多数取り扱っています。
 全国の病院の処方せんを受付中。（200余医療機関の実績あり）
 特製自家製剤（かぜ薬・せき止めなど）はキキメで評判です。
 コーゼー、ノブ、ドクターシーラボ化粧品も扱っています。（敏感肌用）

創業
 90年

(株)長嶺薬局

薬剤師 大平信道 薬剤師 大平千世

宮崎県西都市有吉町1-3 TEL.(0983)43-0107

【宮交バスセンター前】

平日 朝 9:00～夜8:00
 祭日 朝10:00～夜7:00

休日：日曜日

支店 ☆わかば薬局（大塚病院隣）
 ☆みふね調剤薬局（妻中正門前）
 ☆昭和町薬局（宮崎市内）



※この欄は広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

無料健康相談

■日時 11月12日（火曜）9時30分～11時30分

■会場 保健センター1階
■問い合わせ 健康管理課
Tel 0983・43・1146

行政相談

■日時 11月14日（木曜）10時～12時

■会場 市役所南庁舎1階
■問い合わせ 生活環境課
Tel 0983・43・3485

無料人権相談

■日時 11月19日（火曜）10時～15時

■会場 市役所南庁舎1階
■問い合わせ 市民協働推進課
Tel 0983・43・1204

無料法律相談（要予約）

■日時 11月19日（火曜）13時30分～16時

■会場 総合福祉センター
■予約・問い合わせ 社会福祉協議会
Tel 0983・43・4613

県内一斉消毒の日

■期日 11月20日（水曜）

毎月20日は県内一斉消毒の日。消毒の徹底は家畜衛生対策の基本です。飼養衛生管理基準を守り日本一安全・安心な畜産を目指しましょう。

■問い合わせ 農政課
Tel 0983・43・0382

休日納税相談

■日時 11月24日（日曜）9時～16時

■会場 市役所税務課
■問い合わせ 税務課
Tel 0983・43・1061

国民健康保険高齢受給者証・後期高齢者医療被保険者証の交付式

■日時 11月29日（金曜）9時～

■会場 コミュニティセンタ13階

■該当者 昭和18年11月2日～12月1日生まれの国民健康保険の方、昭和13年12月1日～12月31日生まれの方

※該当者には文書を郵送

■問い合わせ 健康管理課
Tel 0983・43・0378

■消費生活無料相談（要予約）
■日時 12月3日（火曜）13時～16時

※相談時間は1人30分です。
■会場 市役所南庁舎1階
■予約・問い合わせ 生活環境課
Tel 0983・43・3485

時～16時

■母子手帳交付
■日時 毎週火曜日 13時～13時30分

■会場 保健センター1階
■問い合わせ 健康管理課
Tel 0983・43・1146

■交通事故相談（要予約）
■日時 平日の9時～16時

■会場 西都地区交通安全協会
■問い合わせ 西都地区交通安全協会
Tel 0983・43・0294

■生活環境課
Tel 0983・43・3485

■今月の納期
12月2日は、保険税第5期、介護保険料第5期、後期高齢者医療保険料第5期の納期期限です。

■口座振替も利用できます。納期内納入をお願いします。

■問い合わせ 税務課
Tel 0983・43・1061

■問い合わせ 税務課
Tel 0983・43・1061

広告

Design × Business

デザインのチカラでビジネスをサポートします。似顔絵・キャラクター製作、お気軽にご相談下さい。

イマイ印刷 facebook イマイ印刷

営業時間 平日8:30～17:30 TEL / 0983-43-5103
〒881-0003 西都市大字右松 2145-1 FAX / 0983-43-5196



※この欄は広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

COOKING



○ヘルスマイト
オススメレシピ

エビの白ゴマ揚げ

recipe

- 材料 (4人分)
無頭エビ 12尾、A (酒大さじ1、塩大さじ1/2)、
卵白 1/2個分、炒りゴマ(白)60~70g、小麦粉
- 作り方
- ①エビは背わたを取り、尾と一節を残して殻をむく。
尾の先を斜めに少し切り落とし、Aをからめて下
味をつける。
- ②①の水気をふき、尾と一節を残して小麦粉適量を
薄くつける。水少々を加えて緩くした卵白にくぐ
らせ、ゴマをたっぷりつけて4~5分おく。
- ③揚げ油を160度に熱し、カリッと揚げる。

うめもん  知識



ゴマ

- 種皮の色により白ゴマ、黒ゴマ、
金ゴマなどに分けられ、料理の
材料や薬味として使われる。
- 『不老長寿の秘薬』と呼ばれる
ほど栄養価が高い。
- セサミンなどを含み、高血圧の
予防や老化抑制の効果があると
言われる。

人の動き (平成25年10月1日現在)

■人口 31,507 (-19) ■男 14,809 (-7)
■世帯数 12,205 (+8) ■女 16,698 (-12)
■転入 54 ■転出 63 ■出生 21 ■死亡 31
■高齢化率(65歳以上) 31.15%

幸徳窯の

コーヒーカップ

調殿にある幸徳窯のコー
ヒーカップ(1100円相当)
を3人の方にプレゼント。
手作りで色合いなどが異
なりますので、お好みの
1品をお選びください。



PRESENT

プレゼント応募方法

このコーナーは、西都市観光協会の提供により行われて
います。はがき・メールに住所、氏名、年齢、電話番号と
広報紙に関する感想や西都市への思いなどを書き、下記ま
で応募ください。締切は11月30日(当日消印有効)で
す。当選者には後日連絡します。宛先=〒881-8501 西
都市総務課「地場産品もらっちゃおう11月号」係。または、
Eメール:koho@saito-city.jpまで。

9月号プレゼント「松明創研社の『梅干し』」の当選者です。
おめでとうございます。

谷迫 史織さま (妻)
黒木 美恵子さま (下妻)
中島 翔子さま (新富町)

BOOKS

●オススメの本

- 『笑顔の架け橋 佐野有美
～手足のない体に生まれて～』
藤本 美郷/著 佼成出版社



人間はそれぞれ役割
があってこの世に生
まれてくる。
生まれながらに障が
いのある佐野有美さ
ん・・・
あきらめない心で、
明るく輝いている笑
顔の有美さんに迫り
ます

- 『人類が絶滅する6のシナリオ』
フレッド・グテル/著 夏目大/訳
河出書房新社



科学技術が地球にも
たらす災厄!
人類の滅亡の危機は
逃れられるのか!?
人類の繁栄により何
が生まれたのか。そ
れに対し私たちは何
をすべきなのか・・・
ジャーナリストが科
学的根拠とともに描
く人類への警鐘!

初、台湾からの 教育旅行受け入れ

9月23日から1泊2日の日程で、台湾の蘭陽女子高級中学（女子高）の生徒や教員ら約40人が西都市を訪問してくださいました。宿泊は、農家民泊や農業体験などに積極的に取り組む西都市グリーン・ツーリズム研究会の会員の方々のお宅です。



初日は、西都原ガイドダンスセンター「このはな館」において、西都古墳太鼓や西都古墳まつりで披露される武人の舞による歓迎セレモニーにはじまり、宮崎県立考古博物館の見学、古代生活体験と「古墳のまち西都」ならではの体験を満喫していただきました。

2日目は、餅つき体験やうどん打ち体験などの日本の食文化に触れ、さらに妻高校の生徒たちと弓道や百人一首、着物の着付けなどの体験を通して交流を深め、国を越えて強い絆を築くことができました。ではないかと思えます。

台湾の高校生たちに感想を聞いてみると大変感動され、思い出に残る教育旅行だと喜んでおり、学校としても来年も西都市を訪問したいと言っておられました。

このような教育旅行の受け入れは、一つ一つ丁寧に対応していくことが大切です。私としましても、台湾の皆さんとの親睦関係を深めるために努めてまいります。関係者の

皆さまは大変だと思えますが、グリーン・ツーリズム研究会のさらなる拡充を図り、良い受け入れ先を多く求めていく努力が必要だと思えます。

みんなで西都市の良さである「おもてなし」をさらに発揮して、共にならばりますように。

橋田和実



「このはな館」前で行われた歓迎セレモニー

編集後記

『スポーツの秋』市内でも幼稚園や保育園、小・中学校、地区などでたくさんさんの運動会が行われました。

「西都市高齢者スポーツ大会」では高齢者の方がボール転がしや借り物競走などに出場されていました。声援や歓声、時には笑い声も。晴れ渡った秋空の下、皆さん、楽しく競技に参加されていました。元気に競技をする高齢者の方を見て思いました。

(ひ)



高齢者スポーツ大会での『ボール転がし』

今年度、本市は市制施行55周年を迎えました。そこで、市民の皆さまにあらためて市民憲章をご紹介します。



西都市民憲章

- 一、 礼儀を正しくし、だれにも親切にいたしましょう
- 一、 忍耐力強く、進んでことに励みましょう
- 一、 きまりを守り、公共物を大切にいたしましょう
- 一、 心身ともに健康で、明るい郷土をつくりましょう
- 一、 教養を高め、つねに視野をひろげましょう

みちくさ

第17回

米良のシュウメイギク

滝一郎の
ちょっと



今から53年前、昭和35(1960)年4月、へき地交流で米良の銀上小学校へ行った。米良というのは米良荘のこと、日本国語大辞典によると「宮崎県中央部を東流する一ツ瀬川上流部の山地の総称。西都市東米良から西側の地域で、江戸時代は肥後国の人吉藩領に含まれていた。シイタケ・茶を産出。平家落人伝説の地」とある。そのころ、国道219号線(米良街道)は一ツ瀬ダムの建設ラッシュで、国鉄バスはアメリカ製の超大型パワーショベルに削られた山肌を這

うようにして走っていた。その工事現場を通り、二軒橋という停留所でバスを降り、さらに三里の山道を歩いて銀鏡についた。その道すがら、岩山にへばりついた木馬道(きんまみち)をオツカナビツクリで渡りながら、谷川に咲いているシュウメイギクに癒されたことを思い出す。(※二軒橋は現在ダムの底にある)

この花は本州・四国・九州に生えているが、もともとは園芸植物として中国から持ち込まれ、庭園や墓地などに植えられていたものが、野生化したものである。だから人の住む家の周りに生えており、人里を離れた深山にはない。その名前は漢字で書くと「秋明菊」で、明るいピンク色が、山道を歩く人の心を明るくしてくれた。

宮崎県植物誌によると、このシュウメイギクは一ツ瀬川

の全域に見られた。ところが一ツ瀬ダムができて照葉樹林と古い歴史の米良荘が湖底に沈み、そこに自生していた秋明菊や野菊・・など、めずらしい山の植物が姿を消していった。

その米良の風物や民俗を懐かしみながら米良街道を歩いていたら、去年の11月22日、大椎葉のユズ畑でこの花の群落を見つけた。

(文・写真)滝一郎

